



大洲校だより

柏崎市立大洲小学校 令和7年9月1日号



ノーサイン野球とコミュニケーション

校長 古川 康成

33日間の長い夏休みが終わりました。今年も雨が少なく、昨年以上に暑さに見舞われた夏でした。子どもたちが大きく体調を崩したり事故や被害等に遭ったりしたとの報告はなく、元気に前期後半のスタートを迎えられたことを大変嬉しく思っています。

夏休み明けの全校集会では、「相手の言葉に耳を傾け、自分の思いを言葉で伝えること」の大切さについて話をしました。言葉は、人と人をつなぐ魔法の道具です。自分の気持ちや考えを言葉にすることで、誤解なく気持ちが伝わり、お互いを深く理解し合えるようになります。大洲小の子供たちは小さいころから顔なじみの友達が多く、学年を問わず、多くを語らずとも思いが伝わりやすい関係にあるといえます。しかし、年齢を重ねたり環境が変わったりするに従い、自分の気持ちや考えを自分の言葉でしっかり伝えることの重要性が増していきます。子供たちには、日々の生活の中で、自分の感情や意見を率直に表現する練習を重ねてほしいと思っています。

さて、今年の夏もまた、高校野球の熱戦に心を揺さぶられました。今年は参加校の実力が伯仲しており、延長タイブレークに持ち込まれる熱戦も数多く見られました。

その中で私が注目したのは、青森県代表の弘前学院聖愛高校です。この野球スタイルは、監督の原田一範さん（以下監督）が選手に細かく指示を出さず、選手自らが考えて動く「ノーサイン野球」を掲げていることが大きな特徴です。監督は高校野球を「人間形成を目的とした活動」と捉え、野球を通じて「多様性の時代を生き抜く人材を育む」ことに重点を置いています。試合中、選手たちは監督の指示を待つのではなく、自ら状況を判断し、考えてプレーします。監督は試合中でも選手と徹底的に話し合い、選手の考えを聞き、必要なアドバイスを送るそうです。この対話を通じて、選手は自ら思考し、自身の行動に責任をもつようになります。

監督は勝敗にこだわることなく、その時々状況を選手に問いかけ、そのプレーの意図や目的を選手自身に深く考えさせるそうです。これは、単に野球がうまくなるためだけでなく、社会に出てからも通用する「自分で考えて行動する力」を育むためだと感じました。

また、挨拶一つとっても相手と心を通わせるための大切なコミュニケーションの第一歩と捉えており、「初めて会った人には自己紹介ができること、久しぶりに会った人には近況報告ができること。お世話になった人には感謝の気持ちを伝えられること。これが挨拶なんだ。」と選手に話しているそうです。

試合は延長タイブレークの末、惜しくも強豪校に1点差で敗れましたが、選手が常に意思疎通を図りながらプレーする姿勢があらゆる場面で見られました。

大洲小の子供たちにも、言葉の力を通して、自分の頭で考え、行動できる人になってほしいと願っています。

言葉で気持ちを伝え合うこと、相手の言葉に耳を傾けること。この夏休みを経て、子供たちがコミュニケーションの楽しさや大切さをさらに実感し、これからの学校生活、そして将来をより豊かにしていくことを期待しています。



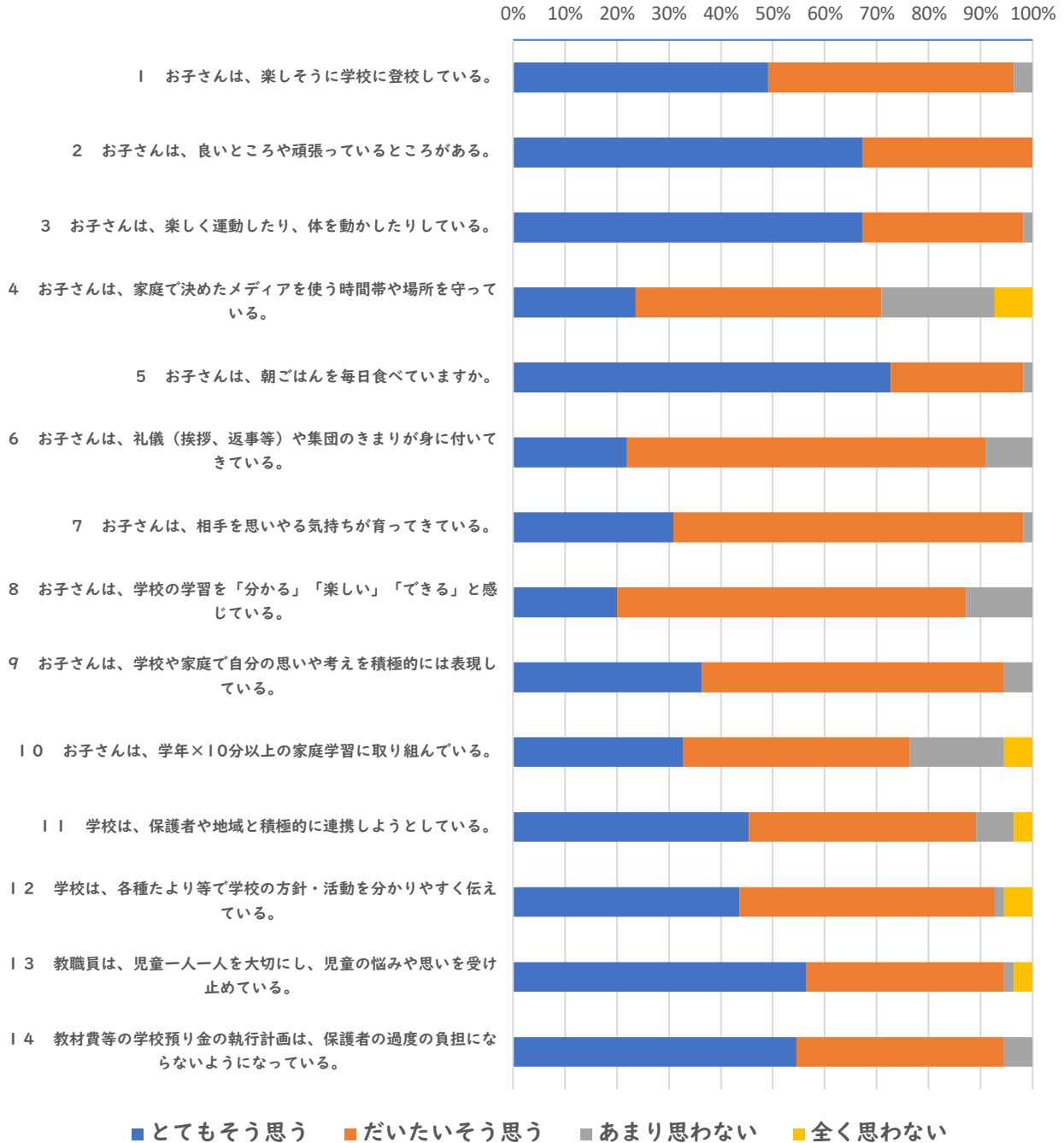
学校評価の結果について

～保護者・児童のアンケートの結果より

7月の「学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。同時期に、子どもたちにもアンケートを実施しました。集計の結果をお知らせします。いただきましたご意見は職員で共有し、後期の教育活動に生かしてまいります。

次のアンケートは、12月を予定しています。時期が参りましたら、再度ご協力をお願いします。

7月 保護者 アンケート



保護者 学校評価 記述	学校より
毎年書いているのですが、素晴らしい施設なので、保護者も五十嵐記念館の中を見る機会があると嬉しいです！日頃できない、文化活動や伝統的な体験ができるとありがたいです。	学習参観等で来校された際、開館しますので、ぜひ見学をしてください。 6年生では生け花体験や市議会見学などを行っています。他の学年でも積極的に学習内容に即した活動を取り入れていきます。

いつもありがとうございます。
 少人数のメリットを活かして、よく見ていただき感謝
 しています。一人一人と向き合い一生懸命指導してくだ
 さっていると感じています。今後ともよろしく願いいたし
 ます。いつもありがとうございます。どうぞよろしく願いい
 たいです。

日々の指導に対しての謝意の言葉を多数いただき心から
 お礼申し上げます。

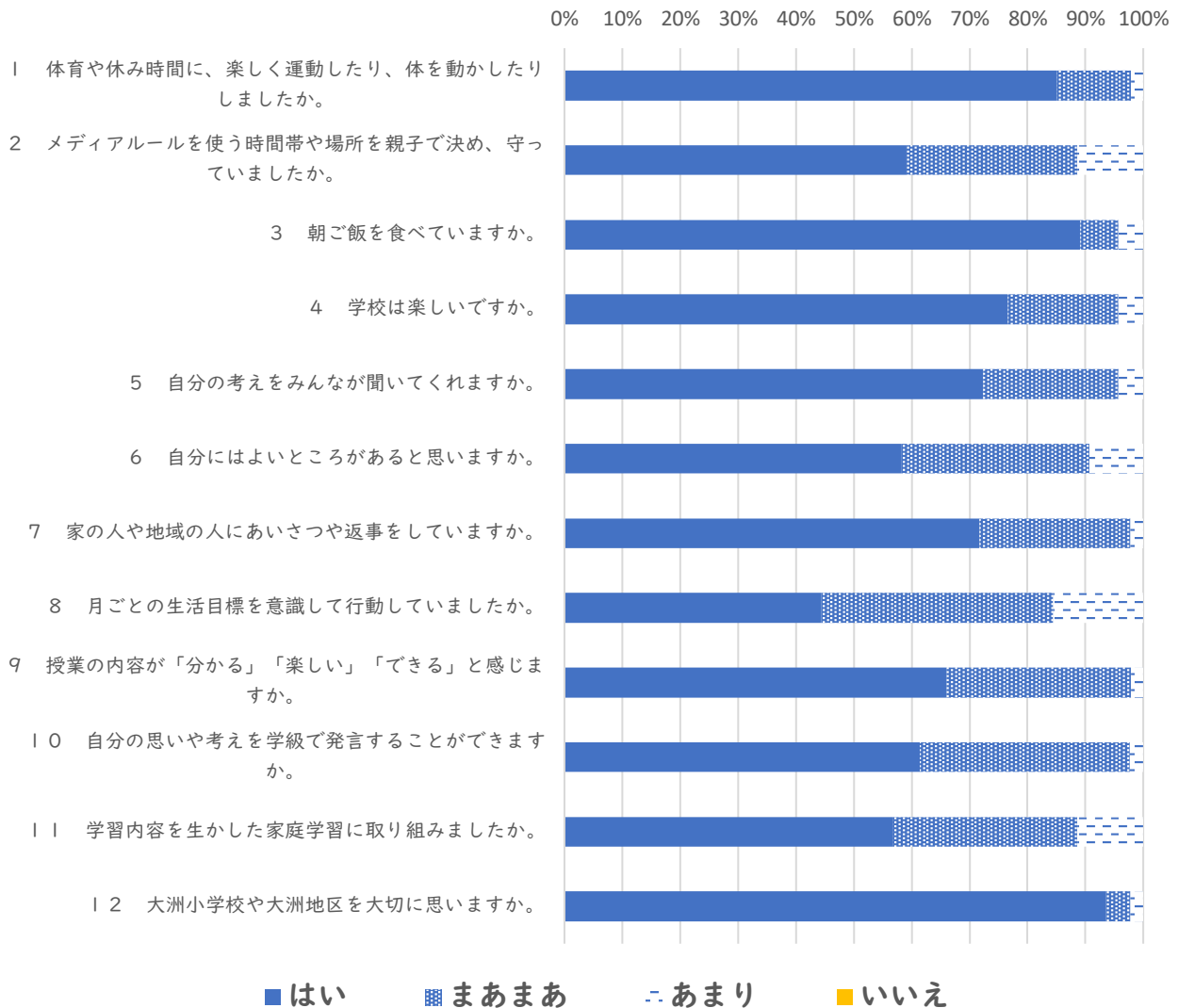
毎日子どもたちのためにご尽力ありがとうございます。
 先生方のおかげで毎日楽しく学校に通っています。

保護者アンケートでは、「お子さんは楽しそうに学校に登校している」96%、「よいところや頑
 張っているところがある」100%、「思いやる気持ち」98%、「自分の思いや考えを積極的に表現し
 ている」94%と肯定的評価が高かったです。

一方、「メディアを使う時間帯や場所を守っている」71%、「学年×10分以上の家庭学習に取り組
 んでいる」77%と肯定的評価が低かったです。お子さんの家庭での時間の過ごし方に課題があることが
 分かりました。柏崎市では、家庭学習習慣の確立を目指し、児童の1日の家庭学習目標時間を「学年×
 10分以上」として取り組んでいます。大洲小学校の児童は、提出物や家庭学習カードから目標時間を
 達成できているお子さんがほとんどです。各学級で、家庭学習の内容が充実するよう、提示・紹介、
 賞賛を繰り返し、意欲を高められるよう取り組んでいきます。

学校の取組についての4項目は、肯定的評価がおおむね90%でした。今後も家庭や地域との連携や
 各種たより等で学校の方針や活動について積極的に情報を発信していきたいと考えています。

7月 児童アンケート



児童アンケート 質問内容	児童の主な回答
「学校は楽しいですか」で答えた理由について教えてください。	○ お友達がいっぱいいるから。
	○ 友達とたくさん遊んだり勉強したりする時間が楽しいから。
	○ 少し心配や、不安はあるけど遊んだり勉強できるから。
授業(国語・算数)の内容が「分かる」「楽しい」「できる」と答えた理由について教えてください。	○ 分かんなくなった時は友達や、先生が教えてくれるから
	○ みんなと勉強すると楽しいから。
	○ 先生が分かりやすく説明してくれるから。
「大洲小学校や大洲地区を大切に思いますか」に答えた理由を教えてください。	○ 地域の皆さんは、とても優しいし子供の遊び場もあるし、学校では、たくさん遊んだり、たくさん勉強をしたりできるから。
	○ 大洲小学校や大洲地区の文化や歴史があるから。
	○ 大洲小学校は、みんな楽しく仲良く遊んでいるから大切に思います。

児童アンケートでは、「学校が楽しい」「挨拶や返事をしている」「授業の内容が分かる、楽しい、できる」「自分の考えや思いを発言することができる」「大洲小学校や大洲地区を大切に思う」の項目で肯定的評価が高かったです。今後も子供たちが楽しく学校生活を送れるように取り組んでいきます。「月ごとの生活目標を意識して行動しましたか」の肯定的評価は84%に留まりました。

「メディアルール」についての肯定的評価は89%でした。「家庭学習」については89%でした。家に帰ってからの時間の使い方(学習・メディア)に関する項目で、子供たちと保護者の受け止め方に差がみられました。子供たち一人一人が自分の生活を見直し、改善できるように学級指導や委員会活動をとおして指導を工夫していきます。

校舎内のトイレ改修工事が始まっています

7月末から12月末にかけて、校舎内のトイレの改修工事が行われます。今回の改修工事により校舎内のトイレがすべて洋式化されます。4階トイレから順に、3階、2階、1階と下がって工事を進める予定です。仮設トイレは用意せず、4階中2つの階のトイレが使える状態を維持しながら、工事を進めます。工事期間中は、玄関前の駐車場が手狭になります。また、子どもたちの安全を第一に、登下校時には、工事車両の現場への立ち入りを避けたり、大型の作業車が入る場合は誘導員を配置したりすることになっています。ご理解ご協力をお願いします。

9月の行事予定

1日(月) 第2回いきいきライフ週間(～9/7)	17日(水) 5・6年生総合的な学習 勝願寺
2日(火) 全校集会	19日(金) 避難訓練(土砂災害)
5日(金) 学校諸費引き落とし日	22日(月) 5・6年生総合的な学習 極楽寺
9日(火) 5限:学習参観 6限:親と子の健康座談会	23日(火) 秋分の日
PTA会則改定にかかわる説明会	24日(水) 宮崎スクールカウンセラー訪問日(午後)
5・6年生保護者対象修学旅行説明会	26日(金) 5・6年生 親善陸上大会
11日(木) 5・6年生プラネタリウムを活用した授業	3・4年生 安全マップ作り(午前)
15日(月) 敬老の日	30日(火) 6年生 学校説明会(三中、柏崎高校附属中)
16日(火) 移動図書館	部活動体験 三中
5・6年生原子力防災出前授業	

